

キャンプカウンセラーのソフトスキルが女子高校生の信頼感に与える影響

則枝 翔(生涯スポーツ学科 野外スポーツコース)
指導教員 黒澤 毅

キーワード：ソフトスキル 信頼感 キャンプカウンセラー 女子高校生

1. 序論

キャンプを成功させ子どもに貴重な体験を与えるうえで鍵を握っているのは指導者、特にキャンプカウンセラーである²⁾。その中で、キャンプカウンセラーのソフトスキルは野外活動を効果的に進める際に非常に重要な技術の一つであり、キャンプカウンセラーの養成に不可欠なものと言える。一方、現代の日本では、信頼感の希薄化が問題となっており、特に女子高校生には、グループによる団結が強く、自分たちと違うグループとは距離をとることが原因で起こる問題も多い。酒井ら³⁾は、「高いストレス状況に置かれた生徒が、それでも健全な学校生活を送るためには、『重要な他者』との間に信頼関係を形成していることが必要である」と指摘している。キャンプの中で、最もよく子どもたちと接するキャンプカウンセラーは『重要な他者』であることから、円滑にプログラムを進め効果を上げるためには、キャンプカウンセラーとキャンパーの間の信頼感が不可欠であると筆者は考える。

そこで、本研究では、キャンプカウンセラーのソフトスキルが女子高校生の信頼感に与える影響を明らかにすることを目的とする。

2. 研究方法

【被験者】2011年7月21～23日に実施された0女子高等学校幼児教育コースキャンプに参加した1年生141名と各班のキャンプカウンセラー14名を調査対象とした。主なプログラム内容は、仲間づくり野外ゲーム、選択プログラム(カヤック・沢登り)、夕食コンテスト、野外炊事等であった。

【調査用紙】1) 土方ら³⁾が作成した「キャンプカウンセラーのソフトスキル認定尺度」を用いてキャンプカウンセラーに調査を行った。

2) 中井ら⁴⁾が作成した「生徒の教師に対する信頼感尺度(SIT尺度)」を改良し、女子高校生に調査した。同時に天貝¹⁾が作成した「信頼感尺度」の中の他者信頼の部分抜粋して用いた。

それぞれの調査用紙をキャンプ1日目とキャンプ3日目のふりかえり時に調査した。

3. 結果と考察

1) キャンプカウンセラーのソフトスキルについて：キャンプ1日目から3日目においてソフトスキルの得点の向上がみられた(表1)。

表1 ソフトスキル得点の平均と標準偏差 (Wilcoxonの符号付順位和検定結果)

	1日目	3日目	Z値
N=14	M(SD)	M(SD)	
ソフトスキル得点	25.6(3.69)	28.0(5.42)	-2.207*

*=p<.05

学年別にみると4年生カウンセラーに向上がみられた。4年生カウンセラーは他の学年に比べて、キャンプ経験が多く、同キャンプの経験もあり、要領がつかめていたと考えられる。次に、2日目に行った選択プログラム(カヤック群・沢登り群)別にみると、沢登りを担当したカウンセラーに向上がみられた。カウンセラーがリーダーシップを発揮し、自ら判断する場面が多く、責任感を感じ

ていたこと、また、水温、気温ともに低く、過酷な状況の中で、安全に配慮し、その場の状況に応じた判断を行ったことが向上の要因として考えられる。

2) 女子高校生の信頼感について：キャンプ1日目から3日目において「安心感」、「正当性」因子に得点の向上がみられた(表2、表3)。

表2 安心感因子得点の平均と標準偏差およびt検定結果

	1日目	3日目	t値
N=92	M(SD)	M(SD)	
安心感得点	51.2(12.01)	54.8(13.18)	-3.19**

**=p<.01

表3 正当性因子得点の平均と標準偏差およびt検定結果

	1日目	3日目	t値
N=92	M(SD)	M(SD)	
正当性得点	22.4(5.01)	24.3(6.26)	-2.97**

**=p<.01

選択プログラム別にみると、沢登り群の向上がみられた。自然状況の変化しやすい、より冒険的な活動の中で、身体的・精神的にストレスを感じたが、カウンセラーに指導を受け活動を達成させたり、危険なポイントでの安全管理場面が信頼感の向上につながったと考える。また、性別では、男子カウンセラーに対する向上、学年別では、4年生カウンセラーに対する向上がみられた。

3) キャンプカウンセラーのソフトスキルと女子高校生の信頼感について：キャンプカウンセラー

のソフトスキル得点変化(向上群、減少・停滞群)別に信頼感(安心感因子、正当性因子)の得点の変化をみたところ、得点の向上はみられたが、それぞれの群に違いはみられなかった。また、他者信頼得点とソフトスキル得点、信頼感の因子別得点の変化群(向上群、減少・停滞群)で他者信頼得点の違いをみたところ、それぞれ向上群のほうが他者信頼得点は向上した。ソフトスキルが高いカウンセラーにはキャンパーを承認し、受け入れる力があり、女子高校生の他者信頼の得点の向上につながったのではないかと考える。また、キャンプカウンセラーのことを信頼することが、それ以外の他者への信頼へとつながると考える。

4. まとめ

本キャンプにおいて、キャンプカウンセラーのソフトスキル、女子高校生のキャンプカウンセラーに対する信頼感は向上した。しかし、女子高校生の信頼感に与える影響は、キャンプカウンセラーの性別や経験、プログラム内容によって異なるため、キャンプカウンセラーのソフトスキルが女子高校生の信頼感に影響を与えたとは考えにくい。今後、どのような要因が女子高校生の信頼感に影響を与えるのかを具体的に検討する必要がある。

引用・参考文献

- 1) 天貝由美子(1995) 信頼感尺度 心理測定尺度集II pp104-108.
- 2) 飯田稔 森林を生かした野外教育 (社)林業改良普及協会.
- 3) 土方圭・飯田稔 (2004) キャンプカウンセラーのソフトスキル認定尺度の開発 野外教育研究 7 (2) pp23-34.
- 4) 中井大介・庄司一子 (2006) 中学生の教師に対する信頼感とその規定要因. 教育心理学研究 54 (4) pp453-463.
- 5) 酒井厚・菅原ますみ・眞築城和美・菅原健介・北村俊則 (2002) 中学生の親および親友との信頼関係と学校適応 教育心理学研究 50 pp12-22.